

# 施策評価表

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（課長等）	2年 7月 27日
2次評価日（部長等）	2年 7月 27日

## 1 施策の概要

施策名	地域福祉の推進	コード	2-1
この施策の主な内容	地域サポートセンターの充実、地域福祉の担い手の確保・育成、地域の支えあい体制の充実		
第5次総合計画におけるこの施策の目的	一人ひとりが地域社会の担い手という意識の醸成を図るとともに、自助、互助、共助、公助それぞれが役割を担い、ともに支えあう地域福祉の推進体制の充実を図る。		
担当部課	部 健康福祉部	課等 社会福祉課	作成者 小口 邦子

## ●施策の実施内容（D0）

### 2 施策指標の達成状況

\* 第5次総合計画における目標指標の達成状況（前期基本計画：元年度～5年度）

施策指標名	単位	29年度	30年度	元年度			2年度	5年度
		実績値	実績値	目標値	実績値	達成率	目標値	目標値
① 避難行動要支援者個別計画登録申請率	%	64.0	63.9	80.0	64.0	80.0%	80.0	100.0
指標説明	避難行動要支援体制づくり（個別計画）の申請率							
②						-		
指標説明								
③						-		
指標説明								

### 3 施策全体にかかる合計コストの推移

\* 項目6より「直接事業費」「人件費」の合計を自動表示

単位：千円

	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
直接事業費	54,296	55,158	55,736	57,436
人件費	18,000	18,000	18,000	18,000
合計コスト	72,296	73,158	73,736	75,436

## ●施策の評価（CHECK）

### 4 施策の現状評価

\* 元年度に施策の目的がどこまで達成できたか、施策の進行状況に関する順調／不調の判断

地域サポートセンターについては、市内全21地区に設置完了となっているが、地域共生社会の実現に向けた具体的な成果を得るには至っていない。  
災害時の避難行動要支援者登録については、制度の周知を図り申請率を高めるための取組に努めているが、目標値に届いていない状況。

\* 岡谷市の現状のうち、この施策にとって強み／弱みとなる要因

岡谷市の強み	市域がコンパクトで、地区、地域のまとまりがあり、自治力が高い。
岡谷市の弱み	人口減少及び高齢化の進行。関係団体等の役員の高齢化と会員数の減少。地域のつながりの希薄化。

### 5 今後の外部環境の変化

\* 令和3年度以降に予測される社会・経済などの環境変化のうち、この施策に具体的に影響する要因

有利に働くもの	健康寿命の伸展により、元気で経験豊富な高齢者の社会貢献が期待できる。
不利に働くもの	少子高齢化、核家族化や近所付き合いの希薄化により、地域の担い手や支え手が不足し、地域福祉の体制が脆弱化。

●改善の内容 (ACTION) / 次年度の計画 (PLAN)

6 令和3年度 施策を構成する事務事業の方向性

●基本的な考え方

\* 優先して実施する分野＝優先度がA・Bの事業：拡大する事業や新規事業の内容、優先的に実施する理由  
 \* 見直しを行う分野＝優先度がC・Dの事業：見直しの内容、見直しや廃止をする理由

優先して実施する分野	地域サポートセンターの役割や運営方法を改めて検証し、区ごとの特性を活かしたモデル的な取組を推進する。地域福祉ネットワーク会議を通じ、先駆的な取組を他の地区にも拡大していく。 自然災害が頻発する昨今の状況下で、他部署と連携し、避難行動要支援者登録制度の活用について、これまで以上に注力していく必要がある。
見直しを行う分野	

●令和3年度の優先度

\* 方向性が「継続」の事業についてA～Cを、「新規事業」の事業についてAをランク付け。方向性が廃止、完了、統合となっている場合は「-」を付する。 直接事業費・人件費の単位：千円

No	新規事業	様式	実施義務	事務事業名	指標名	単位	成果指標			妥当性	方向性	優先度
							29年度	29年度	29年度			
							30年度	30年度	30年度			
							元年度	元年度	元年度			
							2年度(目標)	2年度(予算)	2年度(予算)			
1	一般	なし	地域福祉推進事業	岡谷市地域福祉ネットワーク会議開催数	回	-	500	4,800	高い	継続して実施	B：現状維持	
						3	0	4,800				
						0	288	4,800				
						2	0	4,800				
2	内部	あり	民生児童委員協議会活動支援事業	-	-	-	18,419	3,760	-	継続して実施	B：現状維持	
						-	18,463	3,760				
						-	18,657	3,760				
						-	18,494	3,760				
3	内部	その他	人権擁護推進事業	-	-	-	211	3,200	-	継続して実施	B：現状維持	
						-	588	3,200				
						-	208	3,200				
						-	221	3,200				
4	一般	あり	災害被災者支援事業	利子補給金世帯及び被災世帯	件	10	216	1,040	高い	継続して実施	B：現状維持	
						4	51	1,040				
						23	410	1,040				
						12	219	1,040				
5	内部	あり	緊急時、災害時要援護者支援事業	-	-	-	778	3,200	-	継続して実施	A：拡大	
						-	687	3,200				
						-	693	3,200				
						-	0	3,200				
6	一般	なし	福祉タクシー運行事業	運行回数	回	20,791	34,172	2,000	標準	継続して実施	B：現状維持	
						20,424	35,369	2,000				
						19,771	35,480	2,000				
						27,000	38,502	2,000				
7												
8												
9												
10												